

**平成13年度 第1回
発注企業動向調査
結果報告書**

**平成13年5月
財団法人京都産業21**

調査結果の概要

売上げについて

○売上状況について

「増加」が「減少」を上回ってはいるものの、「増加」が 30.8%と前回より 9.2 ポイント減少しており、アメリカの景気後退懸念が強まる中、前回調査の足踏み傾向がさらに、厳しさを増しているようである。

○今後の売上額の見通しについて

上期においては「増加」が「減少」を若干ながらも上回ってはいるが、下期においては、「減少」が「増加」を大幅に上回っており、減少傾向を見通している。

外注について

○外注利用状況について

「増加」が 30.8%と前回より 12.2 ポイント減少してはいるものの、「減少」も 23.1%と前回より 2.9 ポイント減少している。また、「横ばい」と見る企業も多く、全体的には横ばい傾向となっている。

○今後の外注見通しについて

全体では、「減少」とする企業が「増加」を上回っており、厳しい見通しとなっている。

○年間の総外注費及び京都府内の割合について

全体で、外注金額の合計は 7,817 億 3,741 万円となり、そのうち京都府内の企業には 23.5%の 1,836 億 5,729 万円が発注されている。

○外注企業に望む能力について（品質）

「要求どおりの加工精度」との回答が 24.7%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が 21.6%、「検査体制の強化」が 15.6%、「工程管理の強化」が 14.4%となっている。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定を強く求めており、検査体制、工程管理の強化が、受注確保のための大きな課題となっているようである。

○外注企業に望む能力について（コスト）

「発注内容に応じたコスト対応」との回答が 24.6%と最も多く、次いで「市場価格への対応」が 20.2%、「V E / V A 提案によるコスト提案」が 14.9%となっている。発注企業のコスト削減が進む中、外注企業にもさらに厳しいコスト対応が要求されるものと予想される。

○外注企業に望む能力について（納期）

「状況に応じた柔軟な納期対応」が 47.6%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応」、「納期管理、在庫管理能力」がそれぞれ 22.9%となっている。

外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

○新規外注先企業の情報収集について

「下請企業からの営業活動」との回答が 32.3%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が 21.4%となっている。

なお、全体的に大きな変化がない中で、「インターネットホームページで資材調達先を公募」が前回と比べて 7 ポイント増加していることも注目される。

○新規外注先企業の開拓について

新規外注先を、「探していない」とする企業が「探している」とする企業より 46.2 ポイント上回っており、この傾向は精密機器を除く全業種に共通している。

「将来的に探している」とする企業が全体では 18.3%、業種別では電気機器が 2 割を超え、精密機器が 3 割近くを占めている状況からも、今後新たな取引先を開拓しようとする動きに期待がかかる。

1. 調査概要について

(1) 調査目的 財団に登録する発注企業の動向を把握し、情報として提供することで、府内の下請企業の経営計画策定の一助とするとともにより効果的な受注活動等の促進を図り、併せて財団における取あわせ業務の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業 財団に登録する機械金属関連発注企業 143社

(3) 調査時期 平成13年3月末現在 *調査回収締切：4月末

(4) 調査回収企業 104社(回収率：72.7%)

内訳 金属製品 19社(18.3%) 一般機器 33社(31.7%) 電気機器 24社(23.1%)
輸送用機器 11社(10.6%) 精密機器 17社(16.3%)

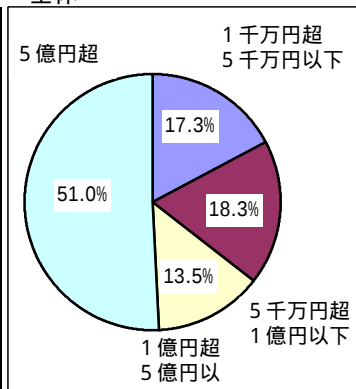
【業種別資本金別回収企業数】

上段：企業数、下段：比率%

	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
1千万円超	18	3	8	2	1	4
5千万円以下	17.3%	15.8%	24.2%	8.3%	9.1%	23.5%
5千万円超	19	3	5	5	1	5
1億円以下	18.3%	15.8%	15.2%	20.8%	9.1%	29.4%
1億円超	14	2	8	0	2	2
5億円以下	13.5%	10.5%	24.2%	0.0%	18.2%	11.8%
5億円超	53	11	12	17	7	6
	51.0%	57.9%	36.4%	70.8%	63.6%	35.3%
合計	104	19	33	24	11	17
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【業種別資本金別回収企業数】

全体



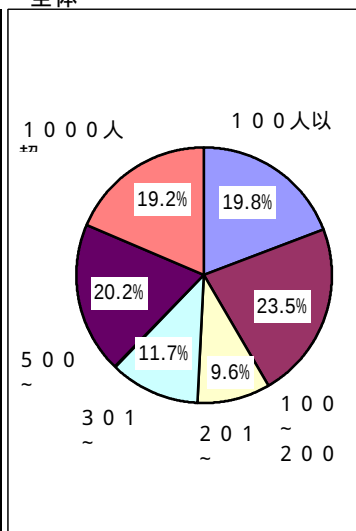
【業種別従業員別回収企業数】

上段：企業数、下段：比率%

	全体	金属製品	一般機械	電気機器	輸送用機器	精密機器
100人以上	16	4	9	1	1	1
	19.8%	21.1%	27.3%	4.2%	9.1%	5.9%
101～200人	26	4	10	3	3	6
	23.5%	21.1%	30.3%	12.5%	27.3%	35.3%
201～300人	10	1	3	3	1	2
	9.6%	5.3%	9.1%	12.5%	9.1%	11.8%
301～500人	11	2	5	0	1	3
	11.7%	10.5%	15.2%	0.0%	9.1%	17.6%
501～1000人	21	6	3	6	3	3
	20.2%	31.6%	9.1%	25.0%	27.3%	17.6%
1000人以上	20	2	3	11	2	2
	19.2%	10.5%	9.1%	45.8%	18.2%	11.8%
合計	104	19	33	24	11	17
	104.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【業種別従業員別回収企業数】

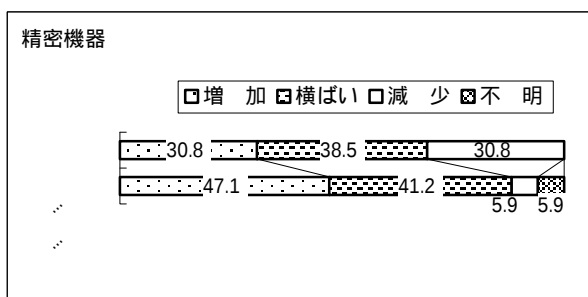
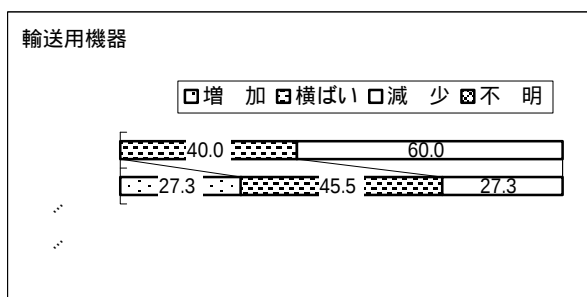
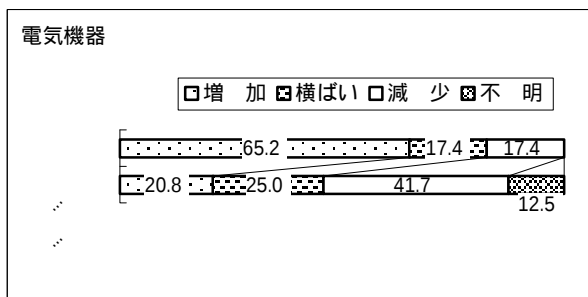
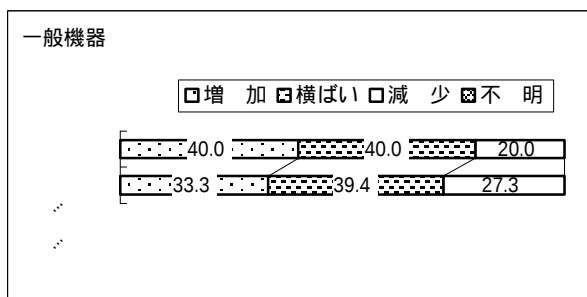
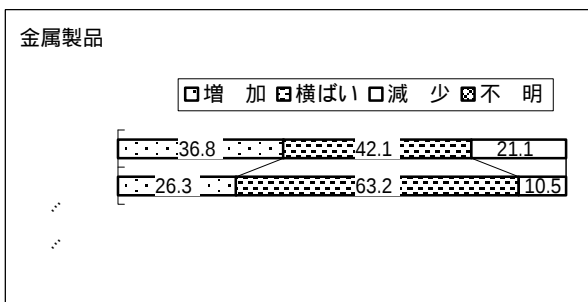
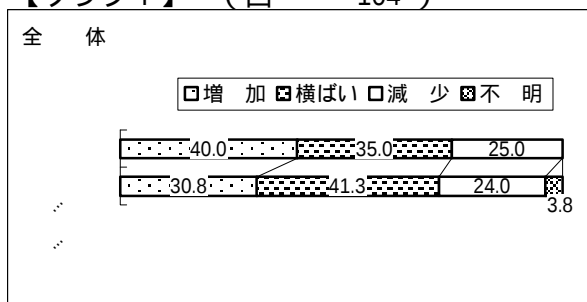
全体



2. 売上について

(1) 12年度の「下期」(12.10～13.03)と12年度の「上期」(12.04～11.09)の売上額の比

【グラフ1】 (回 104)



* 業種別回答数

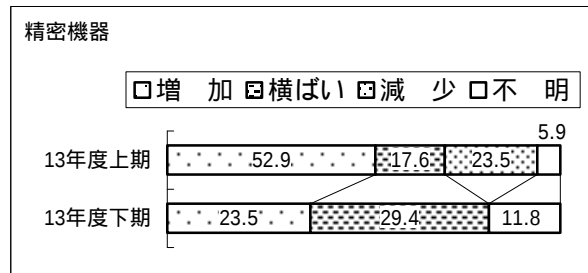
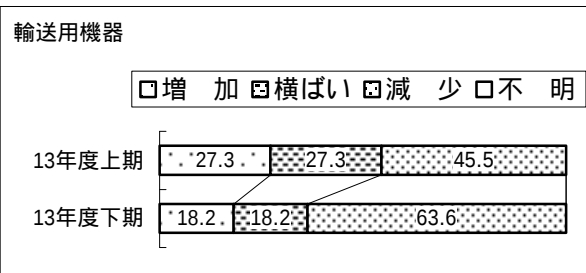
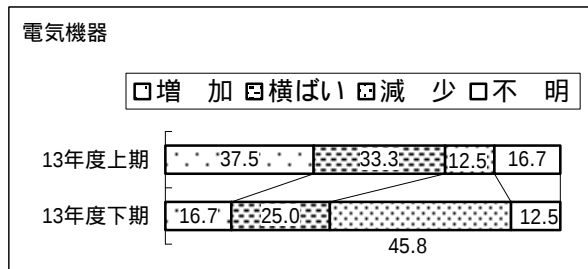
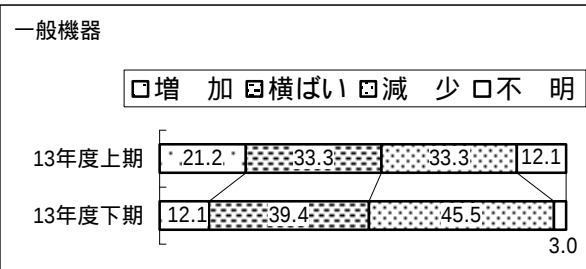
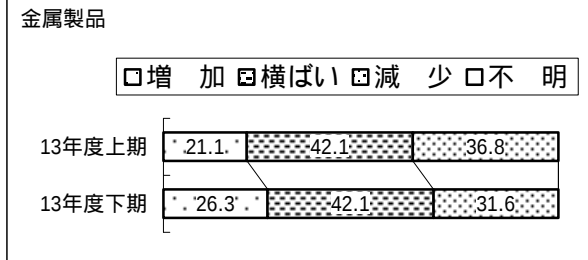
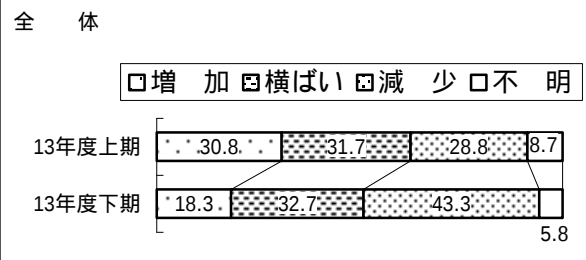
12年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	32	5	11	5	3	8
横ばい	43	12	13	6	5	7
減 少	25	2	9	10	3	1
不 明	4	0	0	3	0	1
合計	104	19	33	24	11	17

【売上額の比較について】

全体では、「増加」が「減少」を上回ってはいるものの、「増加」が30.8%と前回より9.2ポイント減少しており、アメリカの景気後退懸念が強まる中、前回調査の足踏み傾向がさらに、厳しさを増しているようである。業種別では輸送用機器及び精密機器が増加傾向を示している。

〔 2 〕 13年度の「上期」(13.04～13.09)及び13年度「下期」(13.10～14.03)の売上額の見通し

【グラフ2】 (回答数 104)



* 業種別回答数

13年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	32	4	7	9	3	9
横ばい	33	8	11	8	3	3
減 少	30	7	11	3	5	4
不 明	9	0	4	4	0	1
合 計	104	19	33	24	11	17

* 業種別回答数

13年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	19	5	4	4	2	4
横ばい	34	8	13	6	2	5
減 少	45	6	15	11	7	6
不 明	6	0	1	3	0	2
合 計	104	19	33	24	11	17

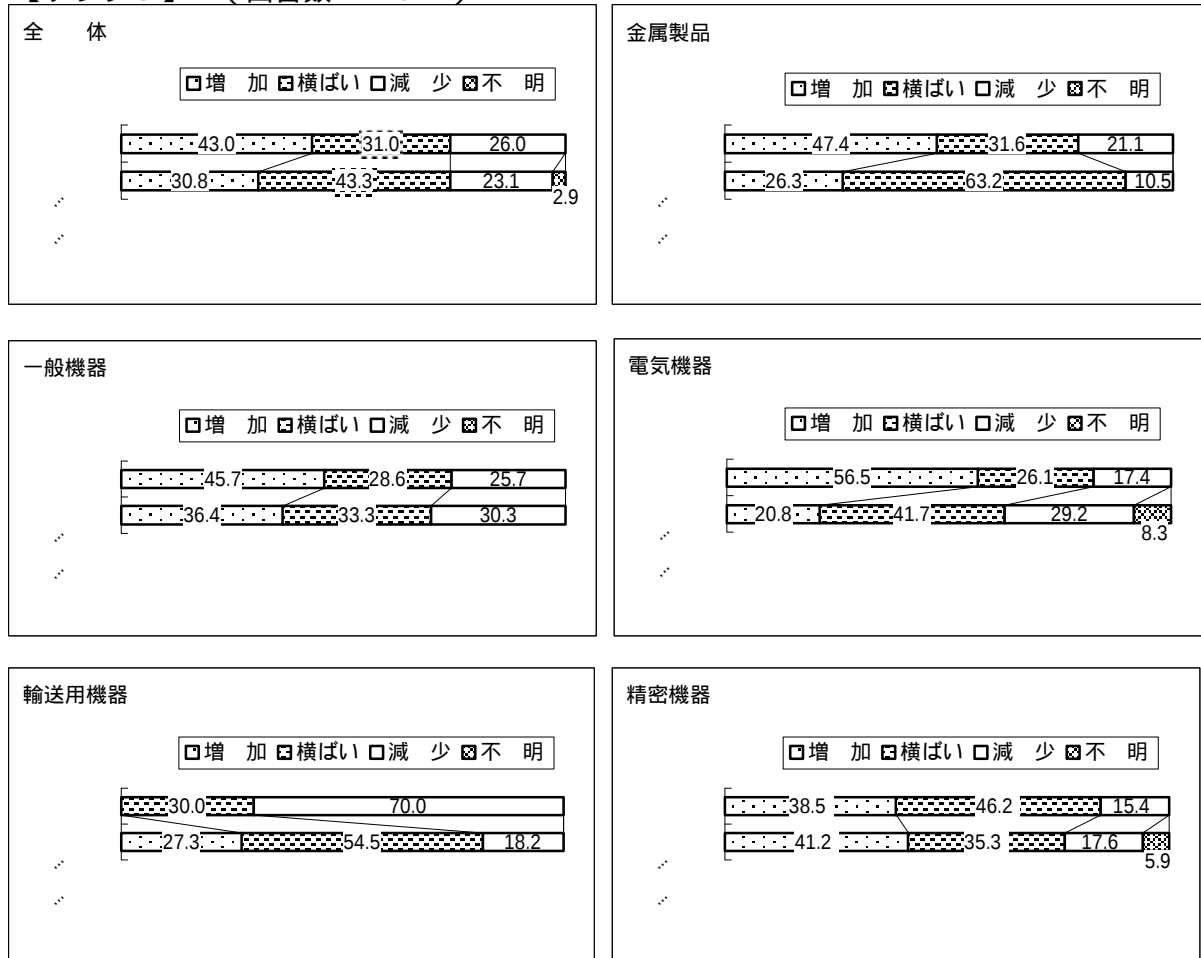
【売上額の見通しについて】

全体では、上期においては「増加」が「減少」を若干ながらも上回ってはいるが、下期においては、「減少」が「増加」を大幅に上回っており、減少傾向との見通しを立てている。業種別では、金属製品だけが先行き、若干の増加傾向を示している。

3. 外注について

(1) 12年度の「下期」(12.10～13.03)と12年度の「上期」(12.04～12.09)の外注額の比

【グラフ3】 (回答数 104)



* 業種別回答数

12年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	32	5	12	5	3	7
横ばい	45	12	11	10	6	6
減 少	24	2	10	7	2	3
不 明	3	0	0	2	0	1
合 計	104	19	33	24	11	17

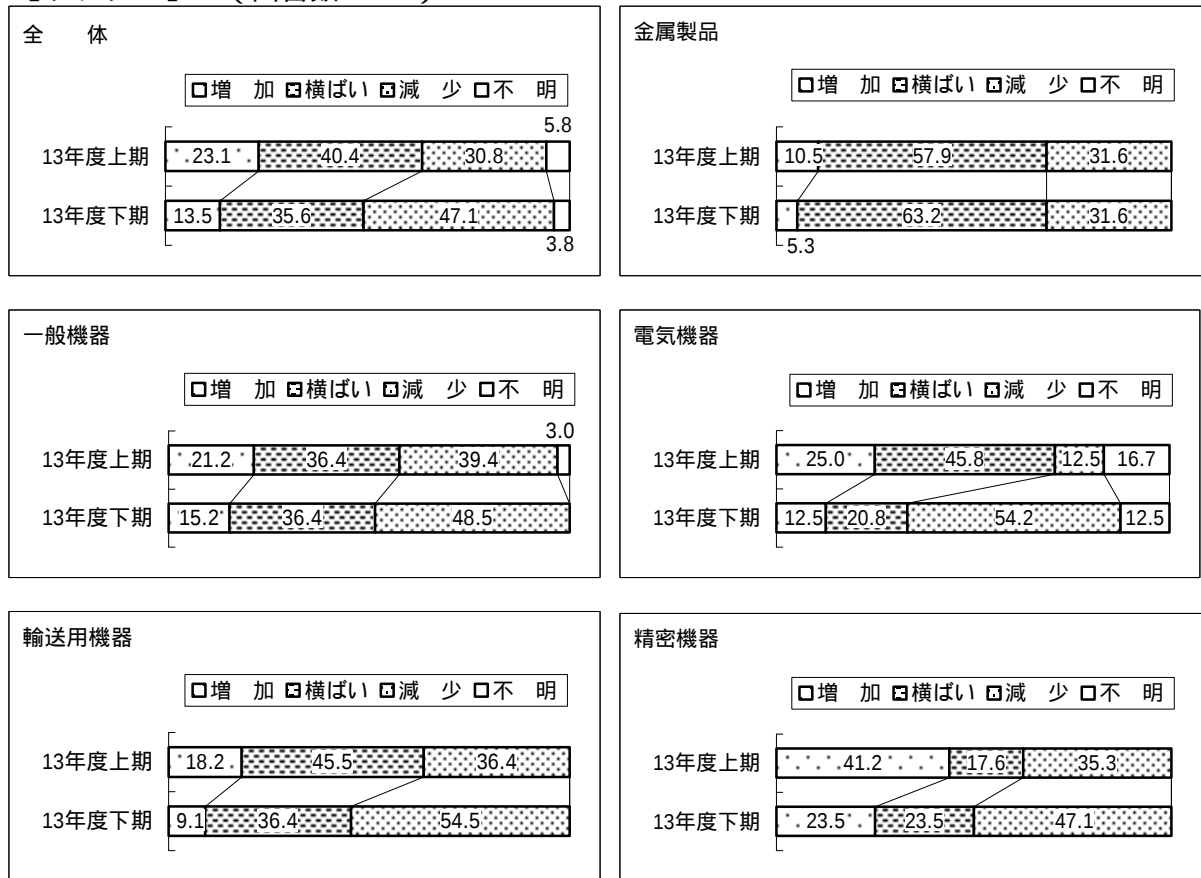
【外注額の比較について】

「増加」が30.8%と前回より12.2ポイント減少してはいるものの、「減少」も23.1%と前回より2.9ポイント減少している。また、「横ばい」と見る企業も多く、全体的には横ばい傾向となっている。

業種別では、輸送用機器、精密機器で「増加」が増えている。

〔 2 〕 13年度の「上期」(13.04～13.09)及び13年度「下期」(13.10～14.03)の外注額の見通し

【グラフ4】 (回答数 104)



* 業種別回答数

12年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	24	2	7	6	2	7
横ばい	42	11	12	11	5	3
減 少	32	6	13	3	4	6
不 明	6	0	1	4	0	1
合 計	104	19	33	24	11	17

* 業種別回答数

12年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	14	1	5	3	1	4
横ばい	37	12	12	5	4	4
減 少	49	6	16	13	6	8
不 明	4	0	0	3	0	1
合 計	104	19	33	24	11	17

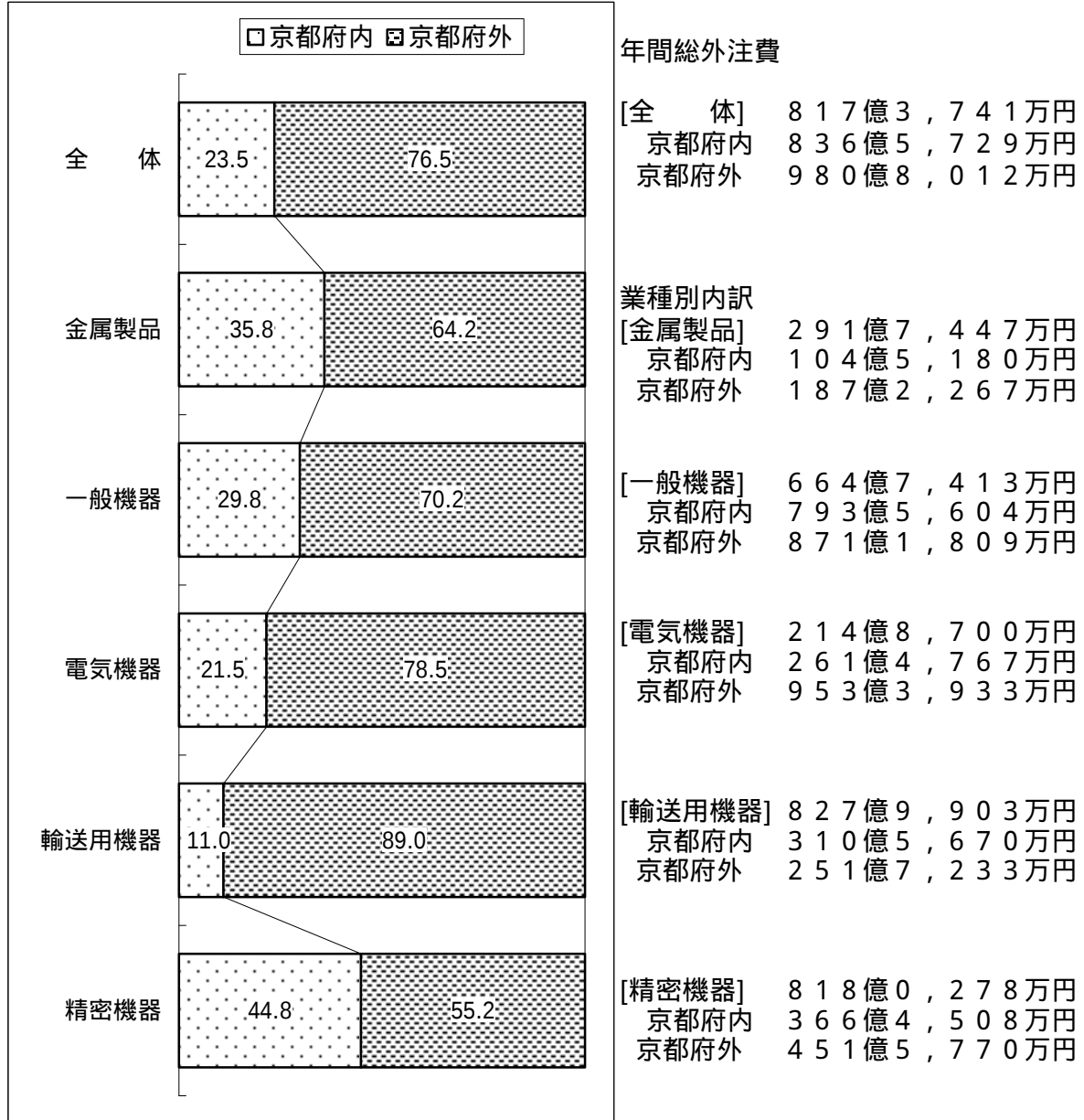
【外注額の見通しについて】

全体では、「減少」とする企業が「増加」を上回っており、厳しい見通しとなっている。業種別に見ても「減少」と見通す企業が増えている。

(3) 12年度の総外注費及び京都府内の企業の割合について

* 本調査については未回答企業もあるため、調査結果は参考値とする。

【グラフ 5】

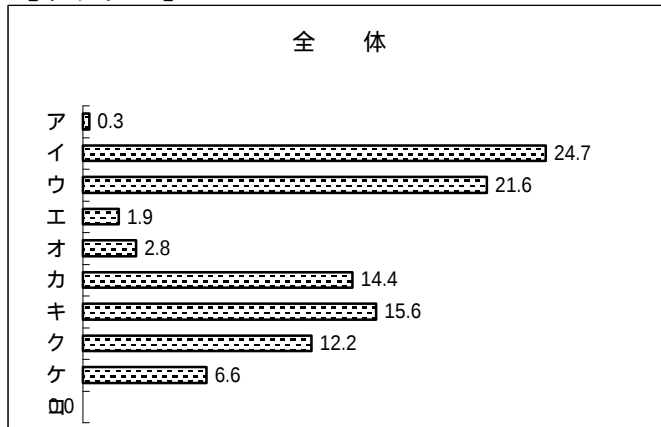


【年間の総外注費及び京都府内の割合について】

全体で、外注金額の合計は7,817億3,741万円となり、そのうち京都府内の企業には23.5%の1,836億5,729万円が発注されている。

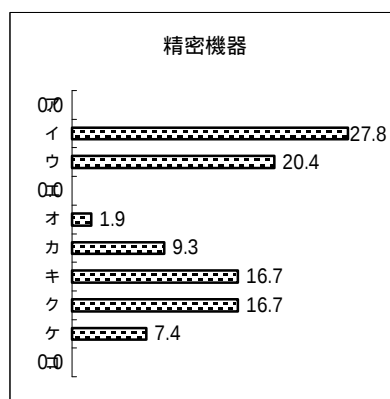
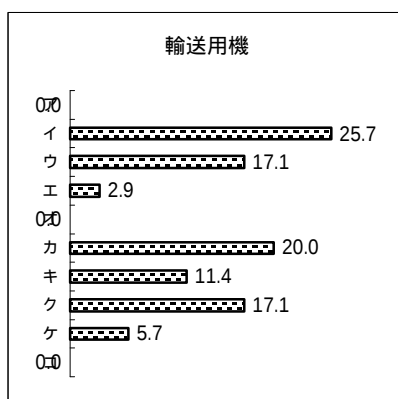
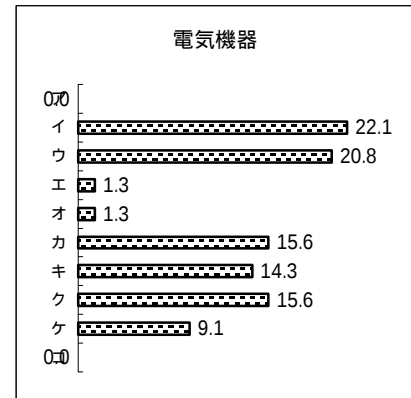
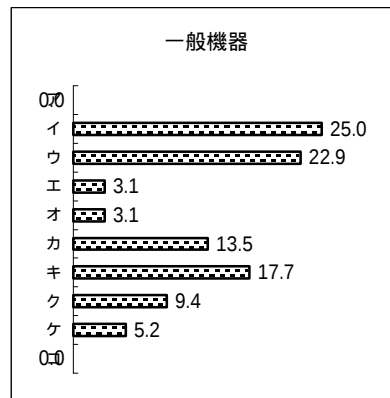
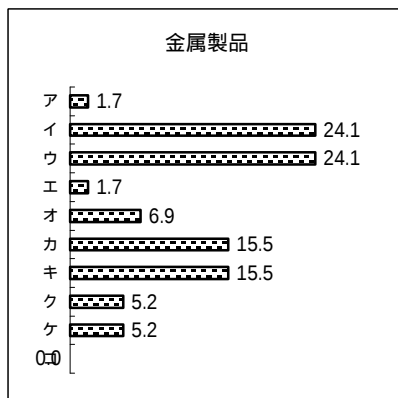
(4) 外注企業に望む能力について

品質について外注企業に望むこと 【グラフ 6】



* 重複回答 (回計数 320)

グラフの項目	回答数
ア．要求以上の加工精度	1
イ．要求どおりの加工精度	79
ウ．バラツキの無い品質安定度	69
エ．新鋭設備の導入	6
オ．職人（技術者）の育成	9
カ．工程管理の強化	46
キ．検査体制の強化	50
ク．V E / V A 提案も含めた体制	39
ケ．I S O などの要求	21
コ．その他	0



* 業種別回答数

機械製品	58
一般機器	96
電気機器	77
輸送用機器	35
精密機器	54
計	320

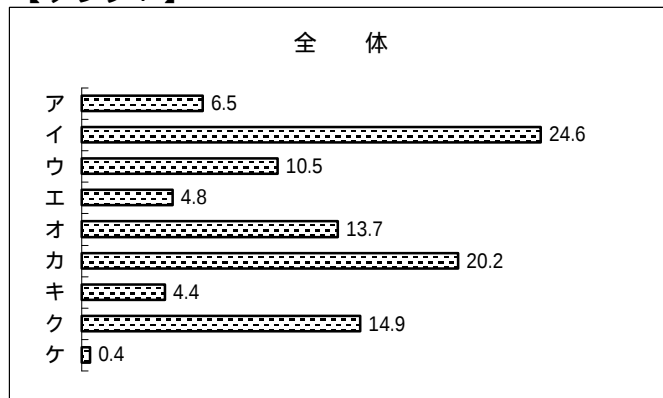
【品質について】

「要求どおりの加工精度」との回答が24.7%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が21.6%、「検査体制の強化」が15.6%、「工程管理の強化」が14.4%となっている。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定を強く求めており、検査体制、工程管理の強化が、受注確保のための大きな課題となっているようである。

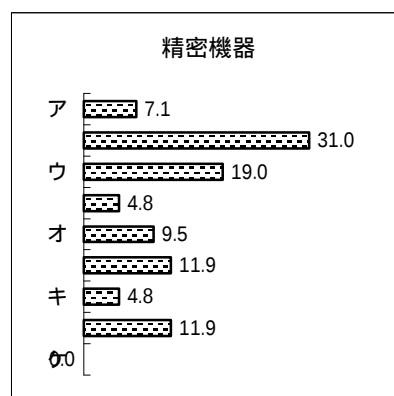
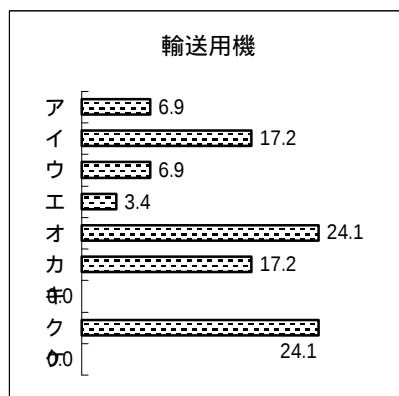
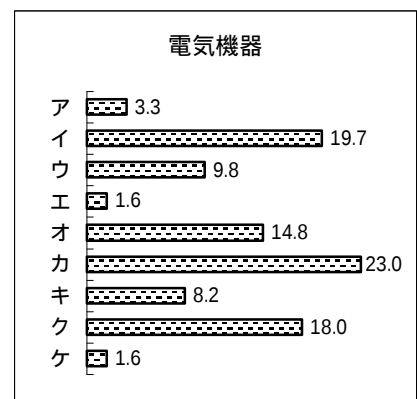
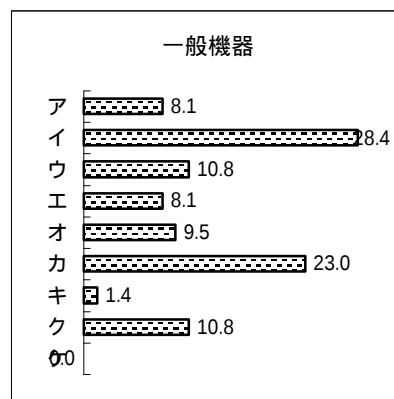
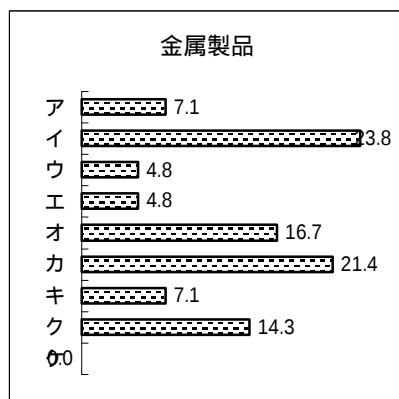
(5) 外注企業に望む能力について

コストについて外注企業に望むこと 【グラフ 7】



* 重複回答 (回答数 248)

グラフの項目	回答数
ア．要求以上の低コスト対応	16
イ．発注内容に応じたコスト対応	61
ウ．適正な見積書作成能力	26
エ．新鋭設備の導入によるコストダ	12
オ．工程管理の強化によるコストダ	34
カ．市場価格への対応	50
キ．海外調達、進出等による低コスト	11
ク．V E / V A 提案によるコスト	37
ケ．その他	1



* 業種別回答数

機械製品	42
一般機器	74
電気機器	61
輸送用機器	29
精密機器	42
計	248

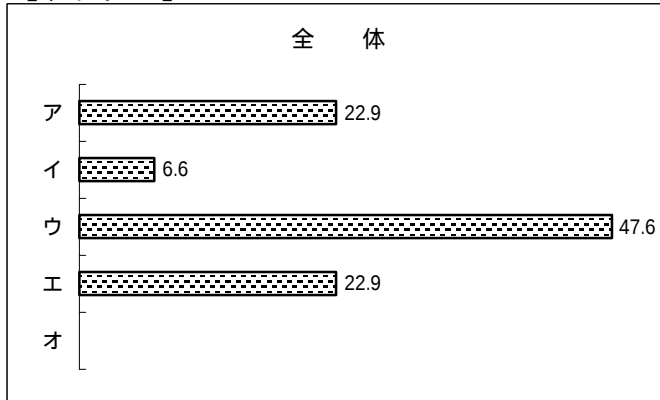
【コストについて】

「発注内容に応じたコスト対応」との回答が24.6%と最も多く、次いで「市場価格への対応」が20.2%、「V E / V A 提案によるコスト提案」が14.9%となっている。

発注企業のコスト削減が進む中、外注企業にもさらに厳しいコスト対応が要求されるものと予想される。

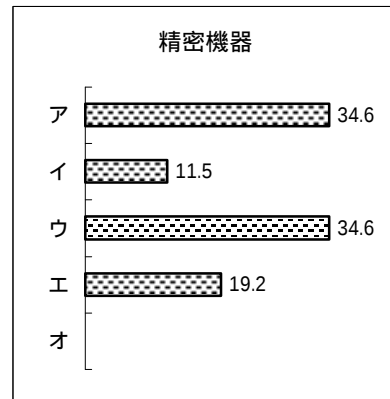
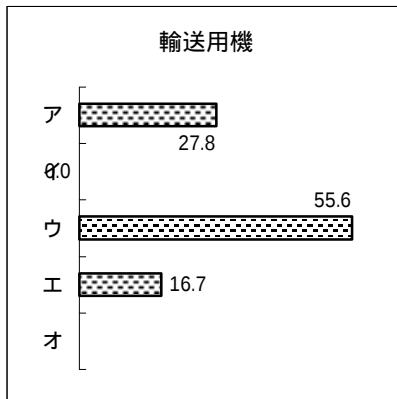
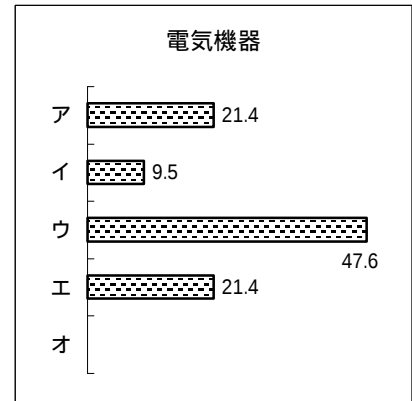
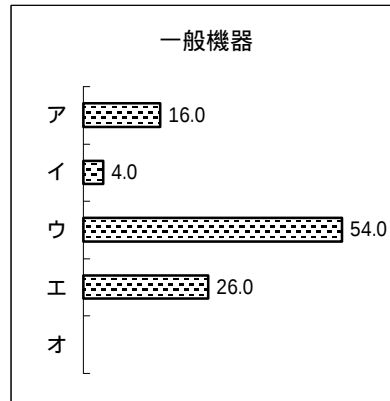
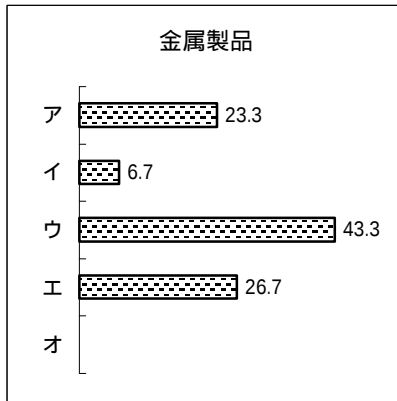
(5) 外注企業に望む能力について

納期について外注企業に望むこと 【グラフ 8】



* 重複回答 (回答数 166)

グラフの項目	回答数
ア．ジャストイン・タイムへの対応	38
イ．在庫保有等による対応	11
ウ．状況に応じた柔軟な納期対応	79
エ．納期管理、在庫管理能力の強化	38
オ．その他	0



* 業種別回答数

機械製品	30
一般機器	50
電気機器	42
輸送用機器	18
精密機器	26
計	166

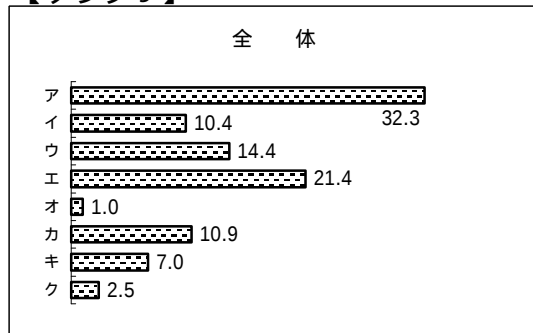
【納期について】

「状況に応じた柔軟な納期対応」が47.6%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応」、「納期管理、在庫管理能力」がそれぞれ22.9%となっている。

外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

(6) 新規外注先企業を探す場合の情報収集の方法について

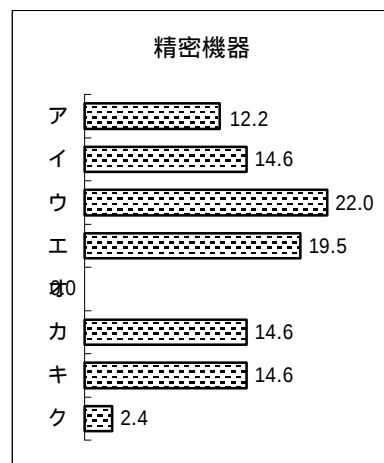
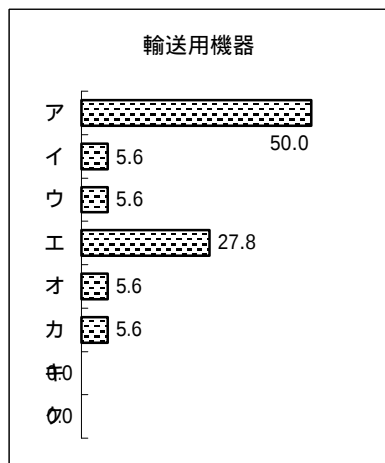
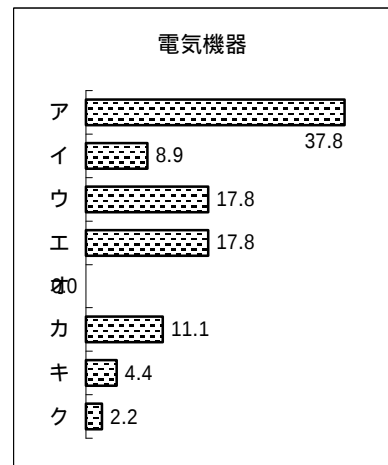
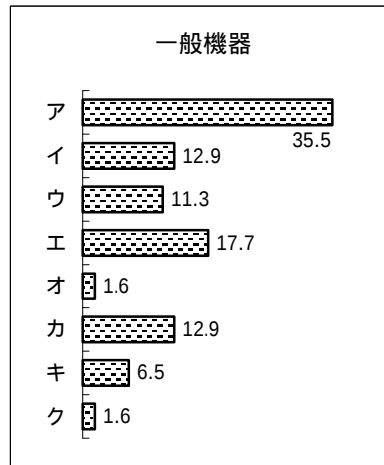
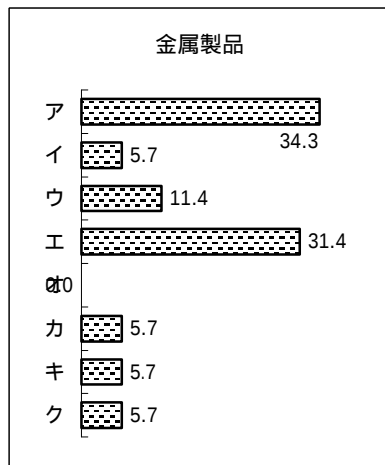
【グラフ 9】



* 重複回答 (回答数 201)

グラフの項目

グラフの項目	回答数
ア．下請企業からの営業活動	65
イ．財団（協会）からのあっせん	21
ウ．テクノフェア等の各種展示会見学	29
エ．情報誌、企業名簿等からの情報収集	43
オ．説明会を開催し、資材調達情報を公開	2
カ．インターネットホームページで資材調達先を公募	22
キ．公社（協会）開催による商談会への参加	14
ク．その他	5



* 業種別回答数

機械製品	35
一般機器	62
電気機器	45
輸送用機器	18
精密機器	41
計	201

【新規外注先企業の情報収集について】

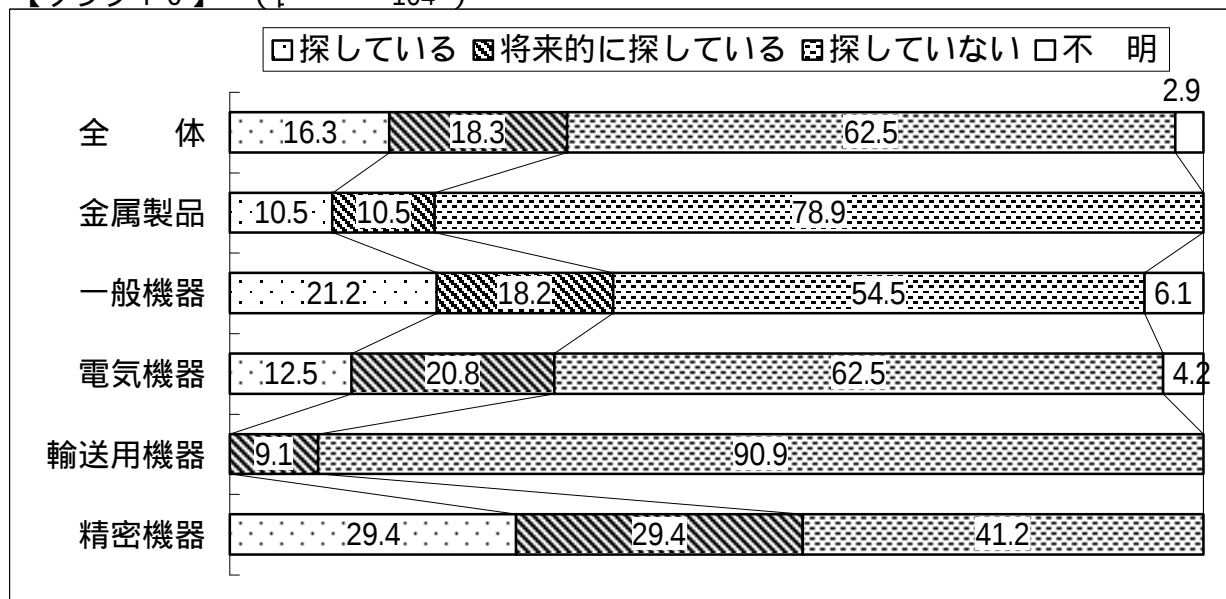
「下請企業からの営業活動」との回答が32.3%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が21.4%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信（企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む）が重要であることがうかがえる。また、「財団（協会）からのあっせん」、「財団（協会）開催による商談会への参加」を含めると2割近く占めており、財団事業についても情報収集の手段として活用されていることがうかがえる。

なお、全体的に大きな変化がない中で、「インターネットホームページで資材調達先を公募」が前回と比べて7ポイント増加していることも注目される。

（ 7 ）新規外注先企業の開拓について

【グラフ 10】 （[104]）



* 業種別回答数

	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
探している	17	2	7	3	0	5
将来的に探している	19	2	6	5	1	5
探していない	65	15	18	15	10	7
不 明	3	0	2	1	0	0
合計	104	19	33	24	11	17

【新規外注先企業の開拓について】

新規外注先を、「探していない」とする企業が「探している」とする企業より46.2ポイント上回っており、この傾向は精密機器を除く全業種に共通している。

「将来的に探している」とする企業が全体では18.3%、業種別では電気機器が2割を超え、精密機器が3割近くを占めている状況からも、今後新たな取引先を開拓しようとする動きに期待がかかる。

別紙平成13年度 発注企業動向調査票（第1回）【機械金属関係】

企 業 名			資 本 金	万円
所 在 地			従業員数	名
T E L		記入者職氏名		
F A X		E-mail		
年間売上		主要製品		

以下の設問について、該当するところに○印を付けていただくとともに、必要事項をご記入ください。

1．売上についての状況及び今後の見通しについてお聞かせください。

(1) 12年度の「下期」(12.10～13.03)と12年度の「上期」(12.04～12.09)の売上額を比較すると、

< 対前期比 > 増 加(約 %) 横ばい 減 少(約 %)

(2) 12年度の「下期」(12.10～13.03)と比較した、今後の売上額の見通しは、

13年度上期(13.04～13.09)		増 加	横ばい	減 少
13年度下期(13.10～14.03)		増 加	横ばい	減 少

2．外注利用についての状況及び今後の見通しについてお聞かせください。

(1) 12年度の「下期」(12.10～13.03)と12年度の「上期」(12.04～12.09)の外注額を比較すると、

< 対前期比 > 増 加(約 %) 横ばい 減 少(約 %)

(2) 12年度の「下期」(12.10～13.03)と比較した、今後の外注額の見通しは、

13年度上期(13.04～13.09)		増 加	横ばい	減 少
13年度下期(13.10～14.03)		増 加	横ばい	減 少

3．年間の総外注費及び京都府内の企業の割合についてお聞かせください。

年 間 総 外 注 費	うち京都府内企業の割合 及び 企業数
約 億 万円	約 % ・ 約

4．外注企業に望む能力について(品質、コスト、納期)お聞かせください。

(1) 品質について、外注企業に望まれることは何ですか

- | | |
|----------------|-----------------------|
| ア．要求以上の加工精度 | カ．工程管理の強化 |
| イ．要求どおりの加工精度 | キ．検査体制の強化 |
| ウ．バラツキの無い品質安定度 | ク．V E / V A提案も含めた体制強化 |
| エ．新鋭設備の導入 | ケ．I S Oなどの導入 |
| オ．職人(技術者)の育成 | |
| コ．その他(具体的に： |) |

裏面もご記入ください

(2) コストについて、外注企業に望まれることは何ですか

- ア．要求以上の低コスト対応
イ．発注内容に応じたコスト対応
ウ．適正な見積書作成能力
エ．新鋭設備の導入によるコストダウン
ケ．その他（具体的に）
- オ．工程管理の強化によるコストダウン
カ．市場価格への対応
キ．海外調達、進出等による低コスト対応
ク．V E / V A 提案によるコスト提案

(3) 納期について、外注企業に望まれることは何ですか

- ア. ジャストイン・タイムへの対応
イ. 在庫保有等による対応
オ. その他（具体的に）

5. 新規外注先の開拓についてお聞かせください。

(1) 新規外注先企業を探す場合、どのような方法で情報を収集されていますか

複數回答可

- ア. 下請企業からの営業活動
イ. 財団（協会）からのあっせん
ウ. テクノフェア等の各種展示会見学
エ. 情報紙、企業名簿等からの情報収集
オ. 説明会を開催し、資材調達情報を公開
カ. インターネットホームページで資材調達先を公募
キ. 財団（協会）開催による商談会への参加
ク. その他（ ）

(2) 現在、新規外注先企業を探していますか

- ア．探している イ．将来的に探している ウ．探していない
ア．又はイ．とご回答いただいた方は、その内容をお聞かせください。
(具体的に：
*後日、ご連絡を差し上げます。

6. 財団ホームページのビジネスパートナーネットワークに参加を希望されますか

「ビジネスパートナーネットワーク」は、財団ホームページにおいて、無料でご利用いただける受発注情報提供システムです。詳しくはホームページを参照ください。
(財団ホームページURL <http://www.kyoto-kosha.or.jp/BPN/>)

登録済み	希望する	希望しない	検討中	詳細が聞きたい
↓ ↓				
後日、ご連絡を申し上げます。				

7. 3月8日に開催しました京都ビジネスパートナー交流会2001の印象はいかがでしたか

- ア. 参考になった
オ. 見学していない
- イ. 普通
カ. その他 ()
- ウ. 参考にならなかった
- エ. どちらとも言えない

8. 今後、開催する同様のイベントやセミナー等の案内を希望しますか

- ア. 希望する イ. 希望しない

9. その他、お気づきの点等、ありましたらご記入ください。

--

ありがとうございました

財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町1-7(京都府産業プラザ内)

TEL(075)313-1159 / FAX (075)321-5253

E-mail : office@kyoto-kosha.or.jp

URL : <http://www.joho-kyoto.or.jp/~ki21/>